

## 「ひまわりの絆」プロジェクト



平成23年、京都府内で発生した交通事故で4歳の男の子が亡くなりました。  
生前、男の子は幼稚園で育てていたひまわりの種を自宅に持ち帰っていました。  
ご両親は、男の子が生きていた証としてそのひまわりを大切に育てました。  
平成25年春、この交通事故を担当していた警察官が自宅を訪問したとき、  
「私たちの子どもが生きた証を残したい。このひまわりがあちらこちらで咲けば、  
この子も色んな所へ行けると思う。もう交通事故は嫌です。」  
と、ご両親からそのひまわりの種を託されたのです。

こうして、京都府警が譲り受けた種は「ひまわりの絆プロジェクト」として引き継がれ、  
現在では、交通事故根絶の願いを乗せて全国各地で大輪の花を咲かせています。

2020年から明石警察署も同プロジェクトに参画し、  
今年もたくさんの幼稚園や小学校に配布しています。  
このひまわりを育てることを通じて、  
命の大切さや交通事故防止について考えるきっかけになればと願っています。

[明石警察署のひまわりの成長記録はこちら](#)